

# 2019年度 決算説明資料

2020年4月27日

# 目次

---

- I. 2019年度 決算概要
  - ・ 2019年度 決算実績 サマリー
  - ・ 2019年度 損益計算書
  - ・ 事業別分析（空調事業）
  - ・ 事業別分析（ボイラ事業）
  - ・ 2019年度 貸借対照表
- II. 2020年度の取り組み
  - ・ 事業別計画（空調事業）
  - ・ 事業別計画（ボイラ事業）
  - ・ 事業別計画（メンテナンス工事）
  - ・ 事業別計画（水素焚き製品開発）
- III. 2020年度の見通し
  - ・ リスク情報
  - ・ 業績予想
- IV. 参考資料
  - ・ 売上高の推移（ヒストリカル・データ）
  - ・ 利益の推移（ヒストリカル・データ）

# 2019年度 決算概要

# 2019年度 決算実績 サマリー

単位:百万円

|        | 2018年度 | 2019年度 | 増減     |
|--------|--------|--------|--------|
| 受注高    | 19,132 | 18,016 | △1,115 |
| 売上高    | 17,864 | 17,564 | △299   |
| 営業利益   | 616    | 341    | △274   |
| 経常利益   | 616    | 337    | △278   |
| 税前ROIC | 10.7%  | 5.7%   | △5.0%  |
| 経常利益率  | 3.4%   | 1.9%   | △1.5%  |

## ・受注高

前年度から空調機器の大口の付帯工事案件やボイラ機器の大口案件が、減少したため、前年度を下回る受注高となりました。

## ・売上高

ボイラ機器で大口ボイラ機器の売上があったものの、空調事業の機器販売や付帯設備工事案件の減少に加え、空調事業の保守点検・改修改造工事（以下、メンテナンス工事）が年度後半に減少したことにより、前年度を下回る売上高となりました。

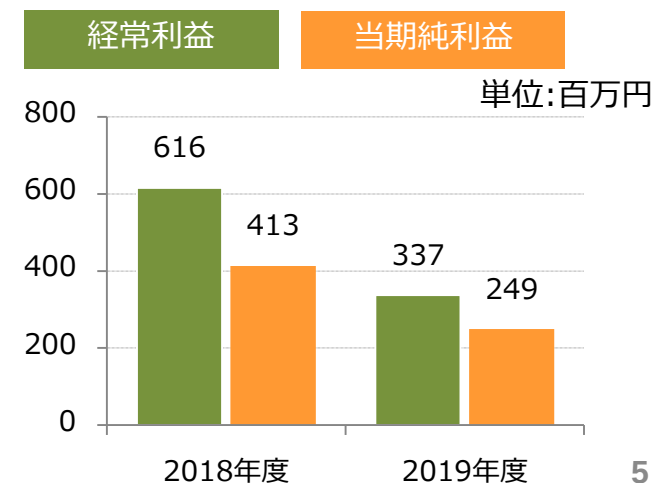
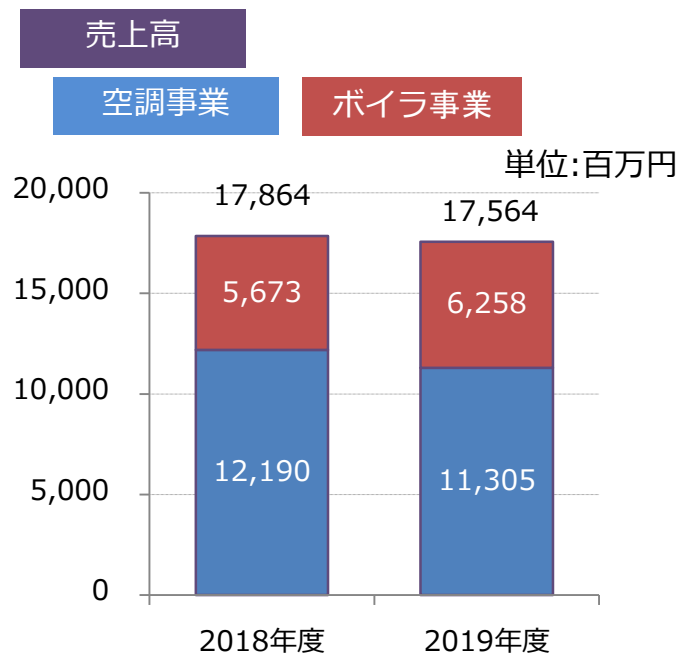
## ・利益

売上高の減少に加え、受注拡大に向けた販売費用の増加等により、減益となりました。

# 2019年度 損益計算書

単位:百万円

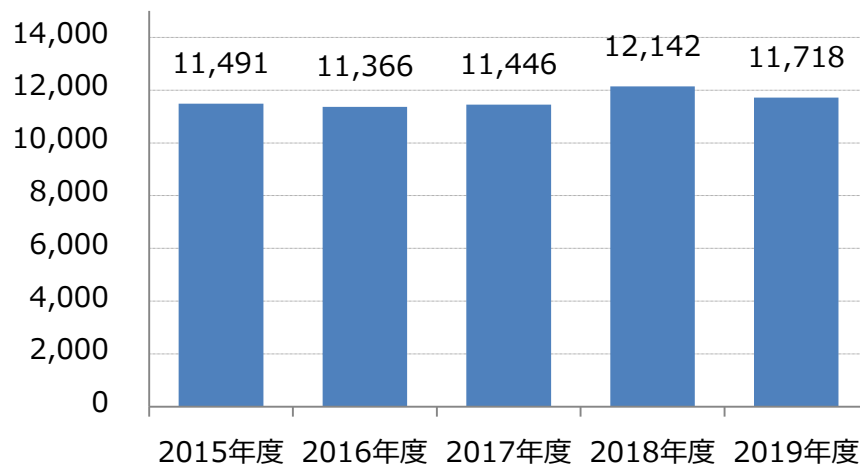
|            | 2018年度 | 2019年度 | 増減   |
|------------|--------|--------|------|
| 売上高        | 17,864 | 17,564 | △299 |
| 売上総利益      | 4,766  | 4,673  | △93  |
| 販売費及び一般管理費 | 4,149  | 4,331  | +181 |
| 営業利益       | 616    | 341    | △274 |
| 営業外収益      | 14     | 10     | △3   |
| 営業外費用      | 14     | 14     | +0   |
| 経常利益       | 616    | 337    | △278 |
| 税引前当期純利益   | 616    | 337    | △278 |
| 法人税等       | 203    | 88     | △114 |
| 当期純利益      | 413    | 249    | △163 |



## 事業別分析（空調事業）

### <受注高>

単位:百万円

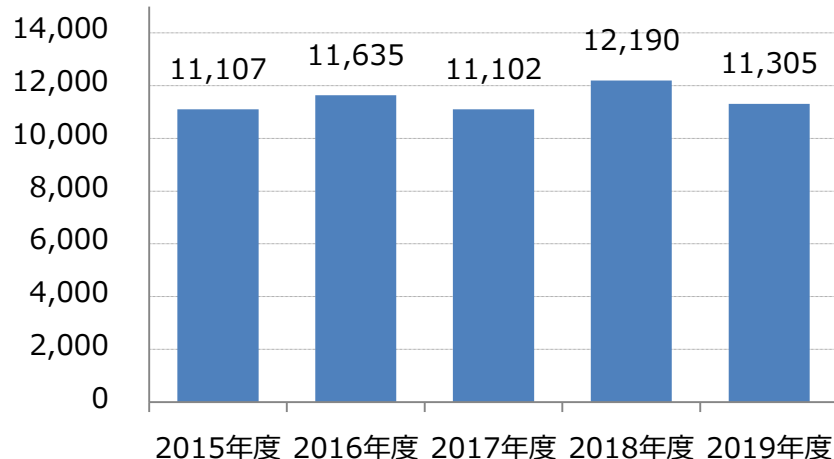


### <受注高>

前年度から機器本体や大口の付帯設備工事案件が減少したことにより、前年度を下回りました。

### <売上高>

単位:百万円



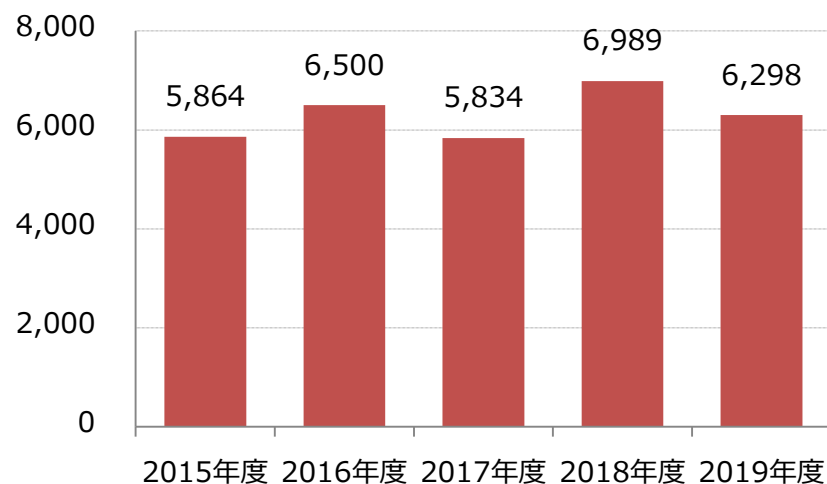
### <売上高>

機器本体、大口の付帯設備工事案件の減少に加えて、メンテナンス工事が年度後半に減少したことにより、前年度を下回りました。

# 事業別分析（ボイラ事業）

## ＜受注高＞

単位:百万円

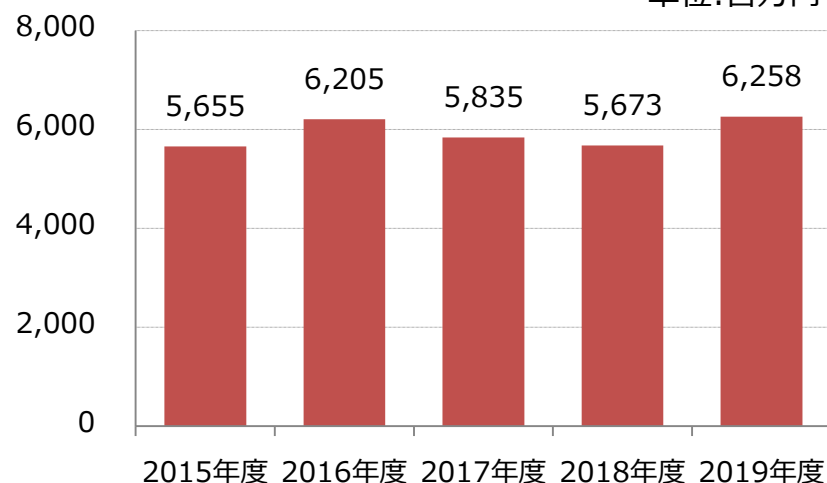


## ＜受注高＞

前年度から大口ボイラ機器案件が減少したこと等により、前年度を下回りました。

## ＜売上高＞

単位:百万円



## ＜売上高＞

前事業年度受注の大口ボイラ機器案件の売上があったこと等により、前年度を上回りました。

# 2019年度 貸借対照表

単位:百万円

|          | 2018年度 | 2019年度 |          | 2018年度 | 2019年度 |
|----------|--------|--------|----------|--------|--------|
| 流動資産     | 11,582 | 10,093 | 流動負債     | 6,788  | 5,007  |
| 現金及び預金   | 5      | 5      | 仕入債務     | 4,609  | 3,175  |
| 売上債権     | 7,065  | 5,996  | 受注損失引当金  | 339    | 352    |
| 棚卸資産     | 2,255  | 2,192  | その他流動負債  | 1,839  | 1,479  |
| 短期貸付金    | 2,135  | 1,810  | 固定負債     | 3,236  | 3,474  |
| その他流動資産  | 121    | 87     | 負債合計     | 10,024 | 8,482  |
| 固定資産     | 4,192  | 4,276  | 株主資本     | 5,702  | 5,850  |
| 有形固定資産   | 2,413  | 2,386  | その他純資産   | 48     | 37     |
| 無形固定資産   | 221    | 292    | 純資産合計    | 5,750  | 5,888  |
| 投資その他の資産 | 1,557  | 1,597  | 負債・純資産合計 | 15,775 | 14,370 |
| 資産合計     | 15,775 | 14,370 |          |        |        |

# 2020年度の 取り組み

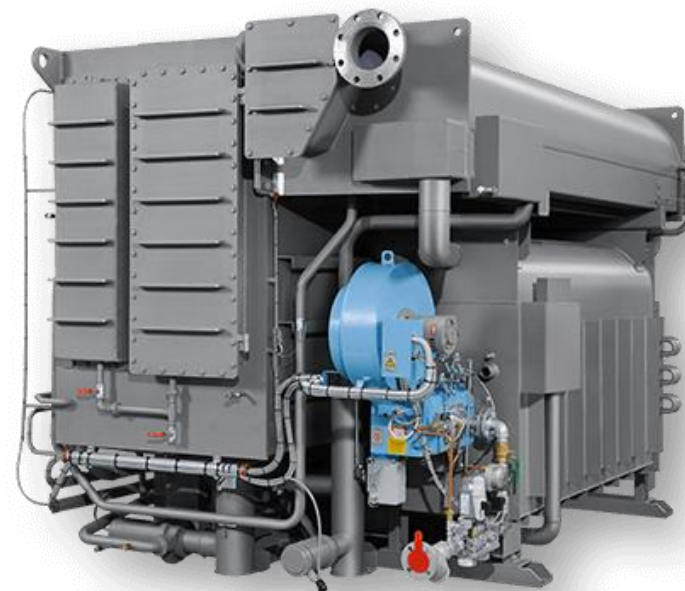
## 事業別計画（空調事業）

---

吸収冷温水機を持つ省電力性や、熱源に廃熱や再生可能エネルギーを有効活用できる特性を活かし、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に引き続き取り組んでまいります。

また、お客様の様々な稼働条件における省エネ効果の実現（定格効率及び期間効率）や、空調システム全体での省エネ制御（システム効率）への要求等に対し、最適な省エネ技術でお応えしてまいります。

# Efficio



## 事業別計画（ボイラ事業）

---

小型貫流ボイラ「ウィルヒート」で業界最高となるボイラ効率99%対応機種を2019年10月に販売開始いたしました。引き続き、貫流ボイラのラインナップ拡充を推進し、製品競争力強化により、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応え出来るよう取り組んでまいります。

また、「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン、ガスエンジンを中心に、コージェネ用排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。



**WILLHEAT**  ウィルヒート

## 事業別計画（ボイラ事業/海外）

海外事業については、マレーシアに引き続き、タイにおいても川崎重工グループの営業拠点を活用し、現地での提案活動を強化しております。今後も、東南アジア市場で、機器・メンテナンス工事を合わせた営業活動を強化し、事業拡大に努めてまいります。国内だけではなく、海外においても「機器＋薬品＋保証」のセット販売を推進し、ストックビジネスの基盤強化に取り組んでまいります。

**lfrit** **Fuerza**

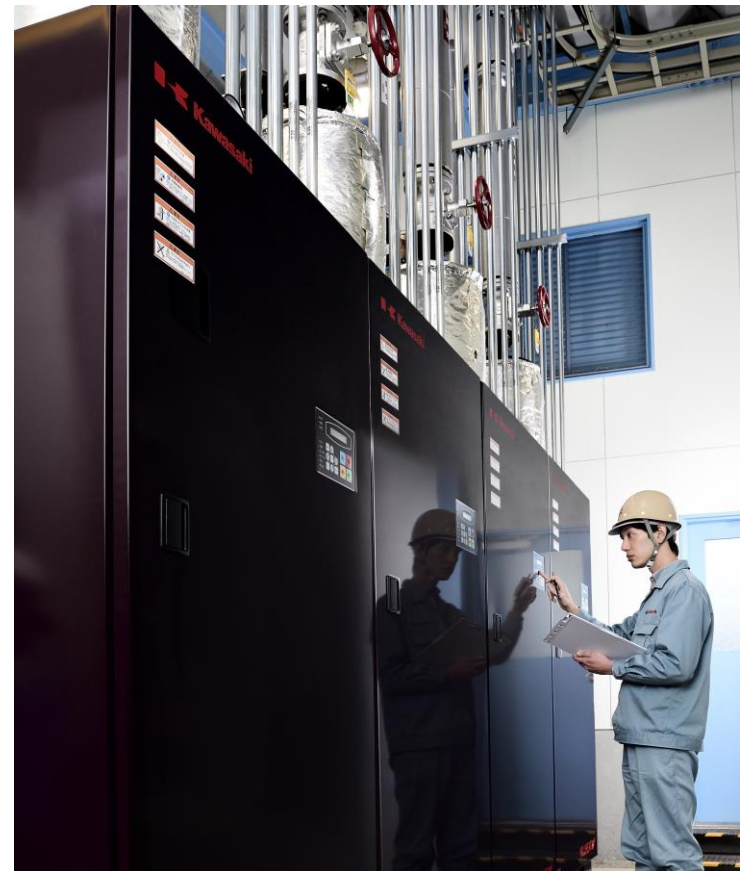


## 事業別計画（メンテナンス工事）

当社の空調・ボイラ機器本体の高信頼性、耐久性の特長を活かした製品保証付きメンテナンス契約の提案活動を積極的に進め、ストックビジネスの強化に取り組んでまいります。

また、従来の24時間遠隔監視システムを進化させた「テレメンテV3」を2020年1月より運用開始し、

I o Tを活用した故障発生 of 未然防止、運転データ分析による省エネ提案等、お客様にさらに安心して当社製品をご使用いただけるよう努めてまいります。



## 事業別計画（水素焚き製品開発）

---

川崎重工グループは、将来の水素エネルギーの普及を見据え、水素サプライチェーンに必要なインフラ技術の開発・製品化に取り組んでおります。当社では、燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出しない水素専焼貫流ボイラの製品化に向けた準備を進めており、2020年度の発売開始予定としております。今後は、吸収冷温水機への適用も図り、脱炭素社会への実現に貢献してまいります。

**川重冷熱工業は「低炭素」だけでなく、「脱炭素」に向けて、  
今後も新たな技術の開発を進めてまいります。**

# 2020年度の 見通し

## リスク情報

---

### 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞により、設備投資が冷え込むことで、当社の受注機会が減少することや、受注した機器やメンテナンス工事が延期や中止となる可能性があります。また、部品調達の遅延により、生産に影響がでる可能性があります。

政府や都道府県の緊急事態宣言に対応し、4月以降対象となる事業所については在宅勤務・自宅待機の対応を行っており、営業活動の制限等、通常の事業活動に制約が加わっております。感染拡大の状況によっては、さらに制限が加わる可能性があります。

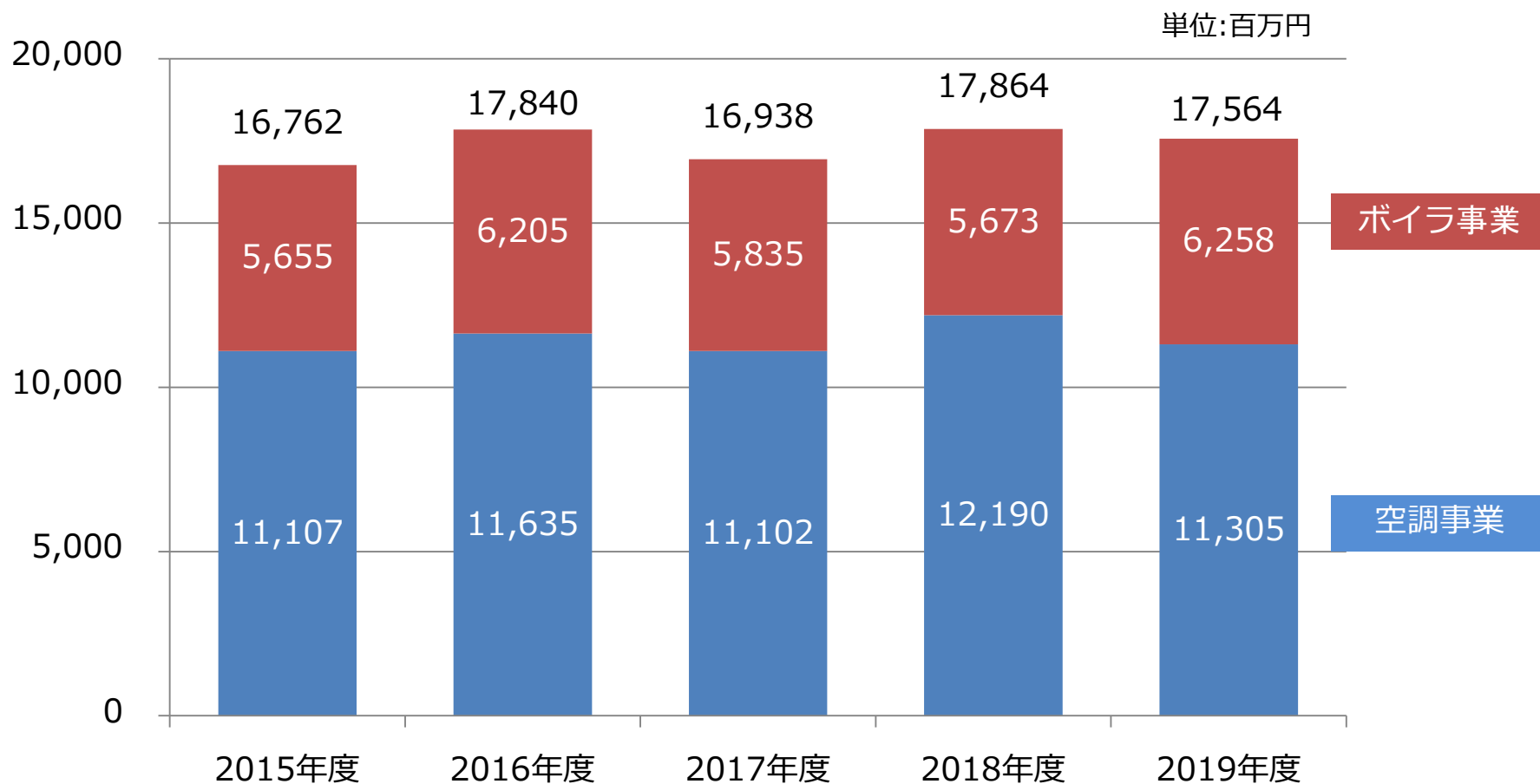
## 業績予想

---

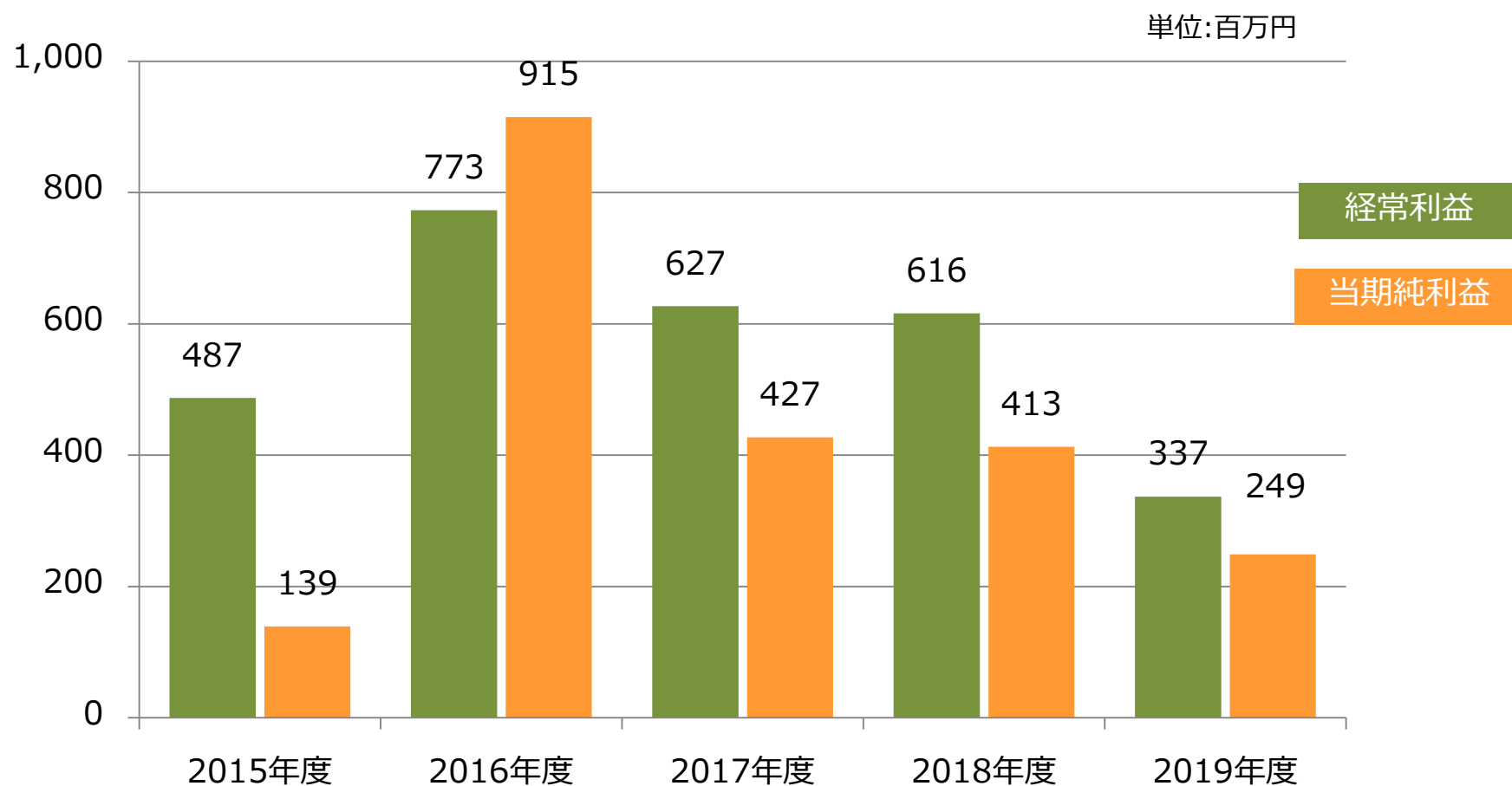
今後の見通しにつきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大が当社の事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に算定できないため、通期の業績予想値の開示を見送ります。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示します。

# 参考資料

## 売上高の推移（ヒストリカル・データ）



## 利益の推移（ヒストリカル・データ）



## 本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの<sup>いま</sup>現在と未来へ



# 川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

### ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。



**Kawasaki Thermal Engineering**